

於福小だより

平成30年2月号

美祢市立於福小学校



ほんとうのがんばり

校長 西村 慶代

「一月はいく 二月は逃げる 三月は去る」とは、よく言ったものです。3学期が始まったかと思ったら、あっという間に2月が過ぎようとしています。

今年は、例年になく寒さで、学校の池やプールの水も、何度か氷を張りました。わんぱく山や運動場に積もった雪で子ども達は雪遊びを楽しみました。一方、インフルエンザが猛威をふるい、本校の児童も罹患者がたくさんでました。厳しい寒さの影響もあったのでしょうか。

2月9日から開催されている冬季オリンピックでの日本人選手の活躍の話題や、2月17日に最速で昇段した将棋界の藤井聡太六段の活躍の話題など、明るい話題もたくさんあります。一方で、メダルを期待されながらもメダル獲得が叶わなかった選手や、藤井棋士と勝敗を分けた棋士など、悔しい思いをした人もいます。

人は光があたることもあれば、冷たい風が吹くこともあります。努力してもめざした結果がでるとは限りません。だからこそ、結果だけに目をとらわれずおごることなくくさることなく、歩み続けることが大切だと思います。

2月22日(木)に開催した学校保健安全委員会の講師 児玉典彦先生のお話の中に、「生きる喜び」という言葉がありました。「人が生きる喜びを感じるのは、① 成長する喜び ② 困難を乗り越える喜び ③ だれかのためにがんばる喜び である。」の言葉の中には、「困難から逃げず、向き合い、乗り越えてこそ味わえる喜びがある。」という思いが込められていると感じます。

好きなこと、調子がよいときには、がんばることが苦になりません。しかし、苦手なこと、調子が悪いときには、がんばることが難しいのは大人も子どもも一緒です。そのときこそ、がんばることができるように、側に寄り添い支えることも大切です。ほんとうのがんばりができる子どもに育ててほしいと思います。

ほんとうのがんばり

長く続けてきたことでも 一回休んだのがもとになって

それきり ダメになってしまう人がある

せっかく立派に築いてきたものが ちょっとのことで

あっさり 根こそぎ 崩されてしまうことがある

調子のよいときにがんばるのは

誰でもできる

調子の悪くなりかけたとき さじを投げたくなったときの

がんばりこそが

ほんとうの がんばりだ

「いのちの言葉」東井義雄一日一言(致知出版社)より

3月



- 1日(木) 交通指導 ワックスかけ
身体測定 (～7日)
- 2日(金) わくわくフライデー
ワックスかけ
- 5日(月) 委員会活動 (引き継ぎ)
- 7日(水) ALT 来校 職員会議
- 9日(金) わくわくフライデー
バイキング給食
PTA執行部会・常任委員会
- 15日(木) 交通指導 卒業式予行



- 19日(月) 卒業式準備 6年給食終了
- 20日(火) 第71回卒業証書授与式
- 21日(水) 🇯🇵 春分の日
- 22日(木) 卒業式片付け 於福中学校仮入学
学校運営協議会 (18:30～)
- 23日(金) 給食終了 ほっとフライデー
- 26日(月) 修了式
- 27日(火) 春休み
- 28日(水) PTA会計監査
- 30日(金) 離任式



わんぱく山がきれいになりました

2月18日(日)に、観察の森ファンクラブの増原さん、竹原さん、山下さん、上野さん、西村さんと教職員で、わんぱく山の掃除(維持作業)を行いました。斜面の落ち葉集め、山全体の通路整備等、落ち葉を掃いて道をきれいにしました。

週が明け、きれいになったわんぱく山に気づいたのででしょうか。たくさんのお子様たちから、「早くわんぱく山で遊びたい。」「いつから遊んでいいんですか。」などの声が聞かれました。天気の良い日には、わんぱく山に子どもたちの元気いっぱいの声が響き渡ることでしょう。於福小の宝の山!これからも大切にしていきます。

2月の学校生活より



雪が積もると子どもたちは大喜び。雪合戦に夢中になっていました。(2/5)

3年生は、サラダハウレンソウ作りでお世話になった西村さんご夫妻を招待して、感謝の集いを行いました。(2/6)



サラダハウレンソウ栽培学習
農家夫婦へ感謝込め
美称・於福小児童がパーティー



地域の皆様のおかげで、今回もたくさんの再生品が回収されました。ご協力ありがとうございました。(2/10)

山口新聞より

卒業式のご案内



日時 3月20日(火) 9時30分～10時40分
場所 於福小 体育館 ※9時15分までに、体育館においでください。

第71回卒業証書授与式を上記のとおり行います。今年度の卒業生は9名です。たくさんの方の地域の皆様に卒業生を祝福していただきたく案内いたします。今年も地域席を設けております。ぜひ、ご来校いただき、9名の卒業生の門出を祝っていただきますようよろしくお願いいたします。(服装やお心遣い等、一切気にされずお越しく下さい。)